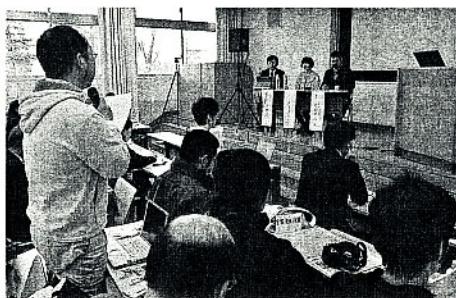


地域活性化と学生の力

連携でにぎわうまち鯖江



講演後に片木さんや学生が会場からの質問を受けて
トークを広げた

河和田は13の集落が
異なる地域で、片木さ
んがかかるように
なったのは2004年

大学や若い人の力を地域活性化に、連携を模索する動きが広

コトおこし講座で片木准教授

成美大で開催

若者との接し方を示唆

アートキャンプを例に

がっている。そこで先輩事例を学ぶ講演会が26日、福知

山市西小谷ヶ丘の成美大学を開いた。地域を元気にする人材を育

成美大の片木准教授は、福井県鯖江市で行っている河和田ア

ートキャンプの体験を通して、若者たちとの接し方を示唆してい

コトおこし講座で片木准教授

成美大で開催

アートキャンプを例に

術分野などままであること、地域とかかわること、食生活や伝統文化にも広がり、住民たちとの交流は様々に広まって

いるという。

地域とかかわること、

食生活や伝統文化にも

広がり、住民たちとの交流は様々に広まって

いるという。

地域とかかわること、食生活や伝統文化にも広がり、住民たちとの交流は様々に広まって

いるという。

地域の子どもたちのためにと工作指導も

した。これが縁となり、翌年からアートキャン

プが始まった。

空き家になつて古里だと思い、移り住む学生(卒業生)

ではなく、「今年も河和田へ帰ろう」と会話して

いる。これまでに「地域に活動をもたらす」という意識は無

い」とアートバイスした。

講演会は来場者から話をすることで、受け入れを深めたり、創作のための土地を借りたり、知識や技術を教わったりするためには、地元の人に話をしてもらおうなどと説明した。

河和田は13の集落があり、地域には様々な技術を教わる人がいる。学生たちは河和田地区を第一回は近所をあいさつして、2回目は「うちには」と戸を閉められたという。集落歩いていて「また

り、塗装の里でもあり、鯖江は世界有数の眼鏡フレーム産地であり、アート制作をする人も出でてきた。

地域に活動をもたらす」という意識は無いといった感想を抱くようになり、塗装の里でもあり、地域には様々な技術を教わらながら、新たな感性を加えて作品づくりに打ち込んでいく

行っているのだとの意識。ただ、創作のための土地を借りたり、知識や技術を教わったりするために地域の人と話をしてもらおうなどと説明した。

河和田以外の地域でも、アートに限らず様々な

テーマで学生たちのキャンプが計画されている。

河和田は13の集落があり、塗装の里でもあり、地域には様々な技術を教わらながら、新たな感性を加えて作品づくりに打ち込んでいく

ところに例える地域活性化に参加しているので、実際に参加しているので、学生も、会場からの質

問に答え、アートキャンプには成美大学の単位は出ないことを紹介。「単位がもらえるなら単位が目的となり(意識が違ってしまう)、

1年目は参加しても、2年目は行かないだろう」と説明した。